

徳島の留学生交流

International student exchange in Tokushima

留学生と地域社会との交流をめざして

か
ず
ら
ば
し

第18号

2008

徳島地域留学生交流推進協議会
International student exchange in Tokushima



鳴門市における国際交流活動

鳴門市長

吉田 忠志

「徳島地域留学生交流推進協議会会報」第18号の発行によせて、ご挨拶申し上げます。

鳴門市はドイツ・リュネブルク市と姉妹都市交流をしている他、中国・青島市とも友好都市として交流を続けています。また今年は、リュネブルク市との姉妹都市盟約締結35周年を迎えます。この長い歳月の中で、多くの両市民が友情を育み、友好の歴史を創り上げてきました。35年という節目を迎えた今、鳴門市とリュネブルク市の強い絆を改めて実感し、今後も両市民による温かい交流が永遠に続くよう願ってやみません。

そもそも、鳴門市がドイツと交流するようになったきっかけは90年以上前に遡ります。当時、鳴門市には板東俘虜収容所があり、そこに約1,000人のドイツ兵俘虜が収容されていました。俘虜たちは約3年間の滞在期間の間、地元住民と交流を深め、牧畜、製パン、洋菓子、西洋野菜栽培、建築、スポーツなどの優れた西洋技術を地元住民に伝えた他、所内で音楽や演劇といった芸術活動も活発に行いました。そのひとつが有名なベートヴェン「第九」交響曲の演奏会です。俘虜たちによって、鳴門市で日本初演の「第九」が演奏されたのです。このことに鑑み、鳴門市では毎年6月の第一日曜日に「第九」の定期演奏会を行っております。初演の地での演奏会には、全国から大勢の「第九」ファンが集まり、毎年素晴らしい交流を繰り広げています。

このような歴史がきっかけとなって、本市と人口規模が似ており、お互いが『塩』で栄えた街であることなど、類似点の多いドイツの都市・リュネブルク市と姉妹都市盟約を締結するに至りました。これまでさまざまな交流事業を展開してまいりましたが、この種の交流を末永く続けるためには、若い世代の参加は欠かせません。市内の高校では、リュネブルク市からの留学生をこれまでに数名受け入れております。また反対に鳴門市からは一名がリュネブルク市内の学校へ留学しました。彼らを中心とする次の世代が、両市の友情の未来を担っていると言っても過言ではありません。本市においても、青少年交流を推進すべく、今後はより多くの機会を提供していきたいと考えております。

また本市では、鳴門市国際交流協会が市内の留学生を含めた外国人が参加できるさまざまなイベントを開催しています。特に留学生には交流パーティーの場を設けたり、自転車、冷蔵庫、暖房器具といった生活物資の援助を行っており、留学生にとって心強い存在となっています。また、外国人を対象とした日本語講座も定期的で開催しており、そこには留学生も参加し、楽しく日本語を学んでいるようです。

外国人訪日者数や、国内の外国人労働者数がとどまることなく増加の傾向にある今、国内における国際交流の幅はますます広がり、教育、経済、文化などさまざまな分野へ大きく寄与することが予想されます。本協議会のサポートのもと、徳島で学んだ留学生の皆さんが近い将来、母国と日本の橋渡しとして大いに活躍されることを心より期待しております。

留学生への支援事業

1 留学生に対する奨励事業

徳島地域留学生交流推進協議会では、留学生が医療費、一時帰省旅費又は、特に、臨時の資金を必要とする場合に次の表の範囲内で貸付を行っています。貸付を希望する人は所属大学等の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでいただくことにしています。

区 分	貸 付 金 額	備 考
医 療 費	独立行政法人日本学生支援機構の医療費補助制度の補助金の推計額の範囲内	
一時帰省旅費	帰省旅費（エコノミークラス）の片道相当額	
特 別 貸 付	10万円以内	

2 ホストファミリープログラムの実施

徳島地域留学生交流推進協議会では、徳島県国際交流協会と共催し留学生をホストファミリーの家庭へ受け入れ、家族ぐるみの交流を行うことにより互いの文化の交流を深めるとともに、留学生が疎外感を感じることなく徳島での生活をより快適に、有意義に過ごせるよう支援することを目的として実施しています。このプログラムでは、宿泊を伴うホームステイと宿泊を伴わないホームビジットがあります。

ホストファミリーの紹介を希望する人は所属大学等の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでください。

また、ホストファミリーとなっただけの方を広く募集しています。申し込み方法等の詳細は徳島県国際交流協会又は事務局までご連絡ください。

3 生活用品の無償提供

徳島地域留学生交流推進協議会では、各国際交流団体の協力を得て、交流団体の会員等の方から生活用品を無償提供していただき、各大学等の留学生を対象とし配布することとしています。

4 留学生のための奨学金等

名 称	給 付 額	人数（平成19年度）	備 考
徳島大学国際教育研究交流資金	月 額 30,000 円	徳 島 大 学 17名	
藤井・大塚国際教育研究交流資金	月 額 30,000 円	" 28名	
佐川留学生奨学会奨学金	月 額 100,000 円	" 1名	
ロータリー米山記念奨学会奨学金	月 額 100,000 円	" 4名	
ドコモ留学生奨学金	月 額 120,000 円	" 1名	
公益信託三木武夫国際育英資金	年 額 300,000 円	" 2名	
徳島ソントクラブ奨学金	年 額 100,000 円	" 1名	
財団法人実吉奨学会	年 額 250,000 円	" 2名	
鳴門教育大学私費外国人留学生奨学金	年 額 60,000 円	鳴門教育大学 4名	
大学間交流協定に基づく交流学生奨学金	月 額 5,000 円	" 2名	
	月 額 10,000 円	" 1名	
鳴門ソントクラブ女子奨学金	年 額 300,000 円	" 1名	
授 業 料 免 除	年 額 756,000 円 (1年)	徳島工業短期大学	2名
	年 額 792,000 円 (2年)		
外国人留学生奨学金	1 回 172,000 円	"	5名 国家試験合格者
外国人留学生奨学金(国民健康保険補助)	年 額 16,000 円	四 国 大 学	3名

5 その他の支援事業

団 体 名	事 業 内 容
徳 島 大 学	日本語補講 実地見学旅行 新入学留学生ガイダンス 生活支援（留学生住宅総合補償の加入金補助）
鳴 門 教 育 大 学	外国人留学生を支援する基金－火災・風水害の被害，病気・事故による入院への支援 日本語補講（初級クラス，中・上級クラス（日本語能力試験対策）） 外国人留学生見学旅行（日帰り）－会社訪問，文化施設訪問，体験学習等 外国人留学生見学旅行（1泊2日）－県外での日本文化体験，工場見学等 日本文化体験－書道，着付，生け花，染色等 外国人留学生新入生オリエンテーション 緊急対応，交通安全オリエンテーション 教員研修留学生研究発表会・修了式（本学での1年間の研究成果の発表）
四 国 大 学 四 国 大 学 短 期 大 学 部	留学生オリエンテーション（資格外活動，各種奨学金等に係る手続きの説明） 生活及び進路相談
徳 島 文 理 大 学 徳 島 文 理 大 学 短 期 大 学 部	生活相談 情報提供
徳 島 工 業 短 期 大 学	生活用品（TV，冷蔵庫，洗濯機，自転車等）の貸与 入学祝金の支給 留学生後援会からの誕生祝金の支給
阿 南 工 業 高 等 専 門 学 校	留学生に対する日本語補講 留学生に対する日本事情補講 留学生に対する数学・専門科目補講 実地見学旅行（1泊2日）
(財)徳 島 県 国 際 交 流 協 会	日本語教室の開設 生活相談窓口の開設
徳 島 市 国 際 交 流 協 会	生活用品の貸出 相談窓口の開設 日本語教室の運営 談話室運営 情報提供（図書，新聞，BS放送，インターネット）
鳴 門 市 国 際 交 流 協 会	留学生に対する生活物資支援（自転車，冷蔵庫，暖房器具等）
阿 南 市 国 際 交 流 協 会	阿南高専卒業留学生の表彰
徳 島 ゾ ン タ ク ラ ブ	留学生への生活用品の提供
徳 島 ユ ネ ス コ 協 会	生活用品の給付

留学生交流事業

平成20年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
(財)徳島県国際交流協会	平成20年7月	2008年度外国人による徳島県日本語弁論大会	在県外国人の率直な意見を聞くとともに、発表者の意見を交えて県民との交流を図る。
	平成20年8月	阿波おどり交流事業(国際交流連・あそわ連)	阿波おどりを外国人に紹介するとともに外国人と県民との交流を図る。
	平成20年12月	ホームステイ・ホームビジットプログラム	日本の家庭生活を味わってもらうことにより、日本の文化や慣習を体験し、異文化理解や相互理解を図る。
	通年	トピアネットワーク会員講師派遣事業	在県外国人を講師として小・中・高等学校等に派遣し、青少年への国際理解を深める。
徳島市国際交流協会	平成20年5月	春期親善交流事業	徳島市文化財めぐり
	平成20年8月	阿波踊り	阿波踊り(TIA連)を通じての交流
	平成20年9月	秋期親善交流事業	国際ふれあいキャンプin祖谷・剣山
	平成20年12月	年忘れボーリング大会	スポーツを通じての交流
	平成21年1月	新春国際交流パーティー	立食パーティー、各国演芸、ダンス
	月2回	スポーツ交流	TIAサッカーチーム
	不定期	日本文化に親しむ会	
	不定期	外国文化に親しむ会	(8月:エジプト文化紹介)
	不定期	講演会	
鳴門市国際交流協会	平成20年7月	たなばた交流会	留学生と子供との交流
	平成20年8月	お盆ホームステイ	阿波踊り期間に留学生をホームステイに招待
	平成20年11月	人権フォーラム(協力)	留学生と中学生の意見交換
	平成20年12月	年末交流パーティ	留学生と市民の交流
	平成20年12月	ワークショップ	留学生による文化紹介(市民参加型)
	週1回	日本語教室	留学生による日本文化体験
小松島市国際交流協会	平成20年7月	外国人阿波踊りコンテスト	阿波踊りを通じての交流
	平成20年11月	外国人留学生らをみかん狩りに招待	留学生と市民との交流
	不定期	交流会(お茶会等)	留学生による日本文化体験

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
阿南市国際交流協会	平成20年6月	マレーシア料理教室	阿南高専留学生による料理教室
	平成20年9月	研修バス旅行（琴平）	留学生，在住外国人と市民との交流
	平成20年11月	ホームステイ受け入れ	阿南高専留学生のホームステイ
	平成21年1月	新年会	留学生，在住外国人と市民との交流
北島町国際交流協会	平成20年5月	留学生歓迎パーティー	留学生と住民との交流
	平成20年11月	外国料理と文化フォーラム	料理を通じての国際交流・文化紹介
徳島ゾンタクラブ	平成20年12月	インターナショナルナイト	留学生を招待して交流
徳島大学	不定期	日本文化体験	留学生が書道（5月），茶道（6月），華道（7月）を通して地域住民との交流及び日本文化を体験
	平成20年6月	ホームビジット，ホームステイ	留学生が日本の家庭を訪問し，日本語による会話を通して日本の文化や慣習を体験する
	平成20年11月	多文化体験交流会	徳島大学大学祭において留学生，日本人学生及び地域住民との交流会
	平成21年3月	外国人留学生交流懇談会	留学生と教職員等との交流懇談会
	不定期（月1回）	国際交流サロン	地域住民と留学生が日本語による交流
鳴門教育大学	平成20年6月	国際交流親睦パーティー	留学生と大学院生，学部生，教職員との交流会
	平成20年8月	阿波踊り	阿波踊りを通じての交流
	平成20年9月	高島地区住民との料理交流会	地域住民との国際交流
	平成20年10月～平成21年2月	外国青年と小学生の国際交流活動	鳴門市小学生と本学留学生の国際交流学習会
四国大学 四国大学短期大学部	平成20年4月	留学生交流懇談会	留学生と教職員等との顔合わせ会
	平成20年12月	留学生交流懇談会	留学生の近況報告会
	毎月1回	留学生面談会	生活及び進路相談
徳島工業短期大学	平成20年4月	留学生歓迎昼食会	留学生の来日を歓迎する会
	平成20年4月	研修旅行	留学生と法人学生相互の交流（勝浦）
	平成20年6月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
	平成20年10月	研修旅行	留学生と法人学生相互の交流（京都）

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
徳島工業短期大学	平成20年10月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
	平成21年1月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
阿南工業高等専門学校	平成20年6月	国際交流懇談会	阿南市職員、阿南市国際交流協会役員との懇談会
	平成20年11月	蒼阿祭	高専の学生、市民との交流
	平成20年11月	ホームステイ	ホストファミリーとの交流
	平成20年11月	四国地区高専総合文化祭	他高専の学生、留学生、市民との交流
	平成20年12月	クリスマス・パーティ	阿南ロータリークラブで交流会
	平成21年1月	新年会	阿南市国際交流協会との新年会
	平成21年1月	外国人留学生実地見学	日本事情の実地見学

各国際交流団体の事務局所在地

団体名	事務局所在地	連絡先電話
(財)徳島県国際交流協会	徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6階	088 (656) 3303
徳島市国際交流協会	徳島市新蔵町1-88	088 (622) 6066
鳴門市国際交流協会	鳴門市撫養町南浜 鳴門市役所内	088 (683) 0270
小松島市国際交流協会	小松島市横須町1-1 小松島市役所内	0885 (32) 2123
阿南市国際交流協会	阿南市向原町天羽畷103-1 西野建設株内	0884 (23) 5599 (夢ホール市民協議会内)
北島町国際交流協会	板野郡北島町中村字上地23-1 北島町役場内	088 (698) 9801
徳島ユネスコ協会	徳島市丈六町長尾62-8	088 (645) 2140
国際ソロプチミスト徳島	吉野川市鴨島町上下島357-1 (美馬 嘉子様方)	0883 (22) 0294
徳島中央ロータリークラブ	徳島市幟町3-9-2 武市ビル2階	088 (626) 1700
徳島 Y M C A	徳島市新町橋2丁目29-1 蔵本ビル1階	088 (626) 0035
徳島ソントクラブ	徳島市一番町3-16-3 阿波観光ホテル内	088 (622) 5161

交流風景



徳島県国際交流協会



阿南市国際交流協会



北島町国際交流協会



徳島工業短期大学



徳島大学



徳島大学



徳島大学



徳島大学

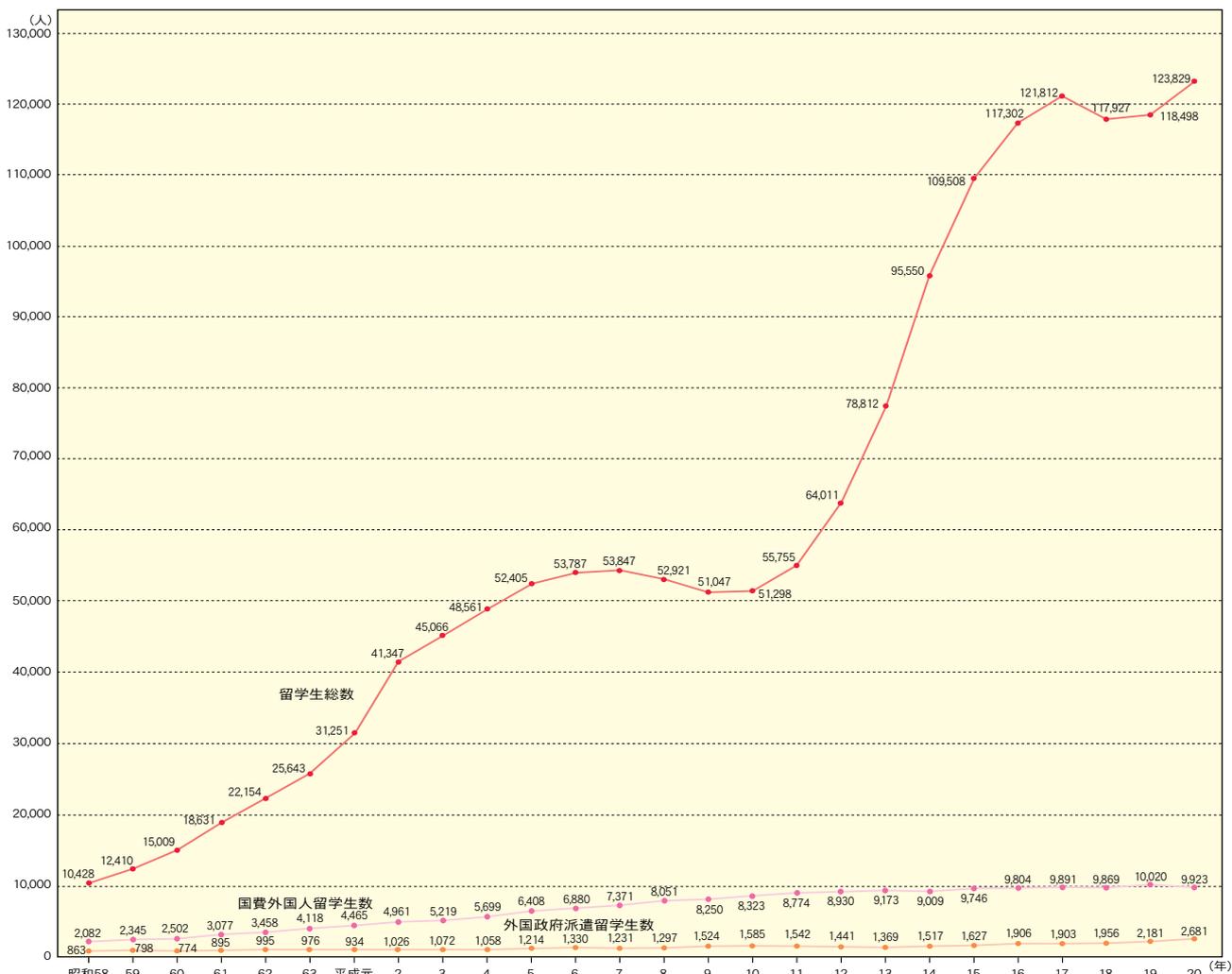
国の外国人留学生受入れの現状

〔文部科学省及び
(独)日本学生支援機構調べ〕

我が国の大学等で学ぶ留学生は、5月1日現在平成19年では118,498人、平成20年は123,829人で、平成18年に比べ19年は571人(0.5%)、20年は5,902人(5%)増加した。これを出身地域別に見ると、我が国の地理的、文化的状況もあり、アジア地域からの留学生が全体の約9割を占めている。

1 留学生受入れ数の推移

(各年5月1日現在)

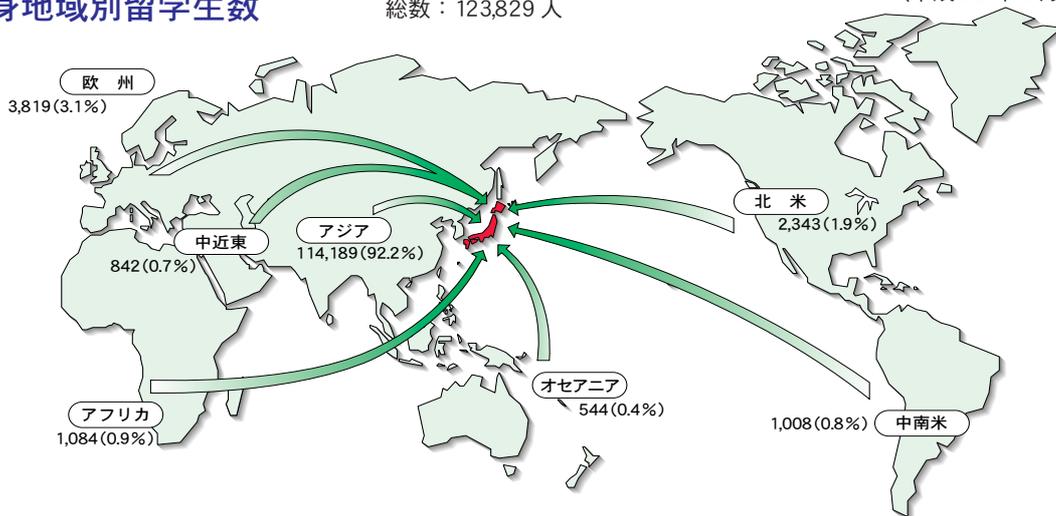


注1) ここでいう大学・専門学校等の在籍者とは、我が国の大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程において教育を受ける外国人学生で、「出入国管理及び難民認定法」別表第1に定める「留学」の在留資格により在留する者をいう。
注2) 外国政府派遣留学生は、マレーシア、インドネシア、タイ、シンガポール、アラブ首長国連邦、クウェート、ウズベキスタン、ラオス、ベトナム、カンボジア、モンゴル、ミャンマー、中国、フィリピン、バングラデシュ及び大韓民国の各国政府派遣留学生である。

2 出身地域別留学生数

総数：123,829人

(平成20年5月1日現在)



3 出身国別留学生数

(平成20年5月1日現在)

国・地域名	留学生数(人)	構成比(%)	備考
中国	72,766 (71,277)	58.8 (60.2)	
韓国	18,862 (17,274)	15.2 (14.6)	
台湾	5,082 (4,686)	4.1 (4.0)	
ベトナム	2,873 (2,582)	2.3 (2.2)	
マレーシア	2,271 (2,146)	1.8 (1.8)	
タイ	2,203 (2,090)	1.8 (1.8)	
アメリカ合衆国	2,024 (1,805)	1.6 (1.5)	
インドネシア	1,791 (1,596)	1.4 (1.3)	
バングラデシュ	1,686 (1,508)	1.4 (1.3)	
ネパール	1,476 (1,309)	1.2 (1.1)	
モンゴル	1,145 (1,110)	0.9 (0.9)	
スリランカ	1,097 (1,181)	0.9 (1.0)	
その他	10,553 (9,934)	8.6 (8.3)	
計	123,829 (118,498)	100.0 (100.0)	

() は19年5月1日現在の数

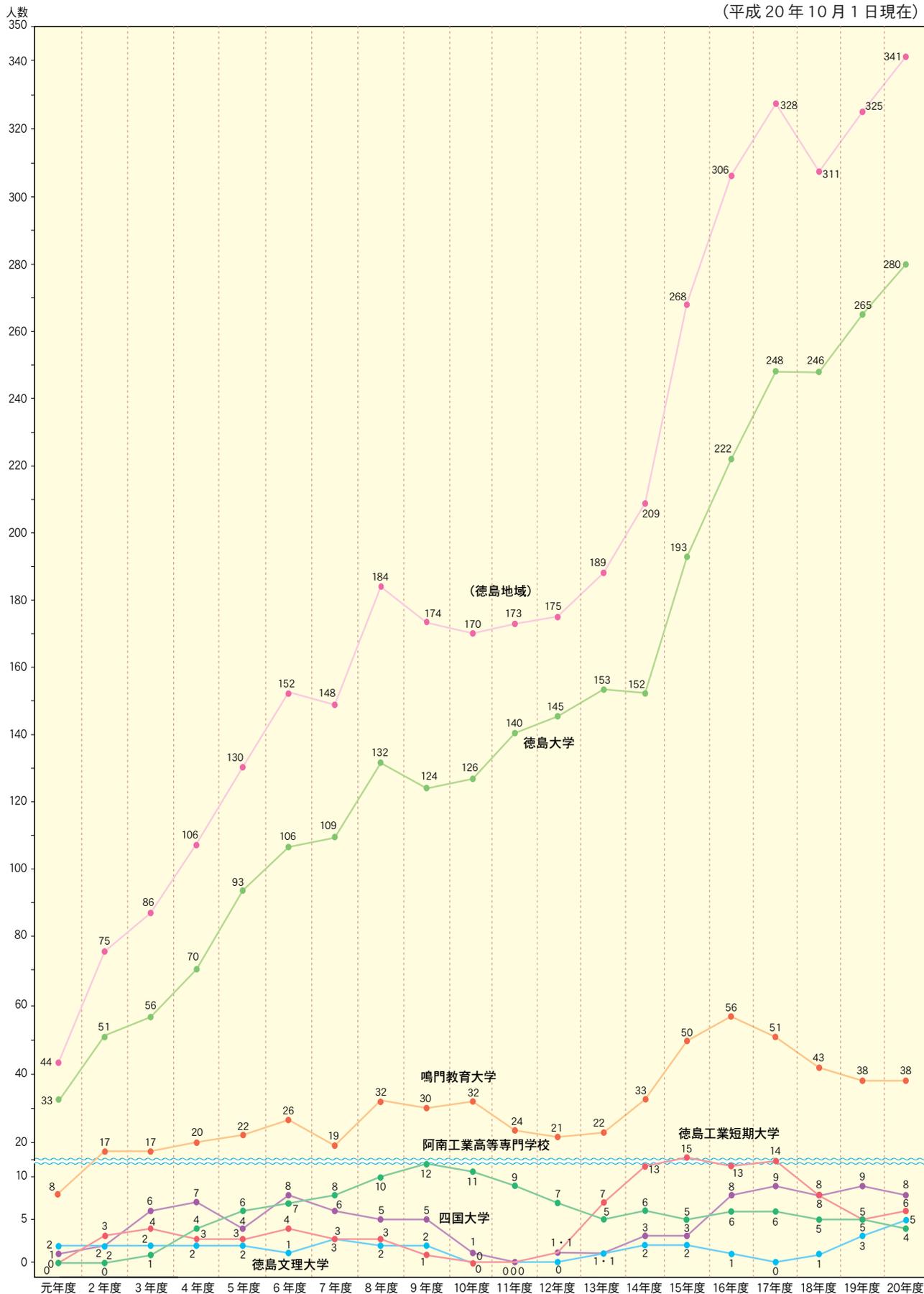
4 地方別・都道府県別留学生数

(平成20年5月1日現在)

地方名	留学生数(人)	都道府県	留学生数(人)	地方名	留学生数(人)	都道府県	留学生数(人)		
北海道	1,900 (1.5%)	北海道	1,900	近畿	21,848 (17.6%)	三重	793		
						滋賀	371		
京都	4,994								
大阪	10,289								
兵庫	4,017								
奈良	1,102								
和歌山	282								
東北	3,481 (2.8%)	青森	523			中国	5,302 (4.3%)	鳥取	186
		岩手	396					島根	213
		宮城	1,814					岡山	1,982
		秋田	227	広島	2,091				
		山形	212	山口	830				
関東	61,949 (50.0%)	茨城	2,320	四国	1,336 (1.1%)	徳島	361		
		栃木	1,071			香川	349		
		群馬	1,172			愛媛	475		
		埼玉	5,444			高知	151		
		千葉	5,566			九州	14,235 (11.5%)	福岡	6,613
東京	42,371	佐賀	398						
神奈川	4,005	長崎	1,418						
中部	13,778 (11.1%)	新潟	1,197	熊本	743				
		富山	585	大分	3,965				
		石川	1,421	宮崎	122				
		福井	329	鹿児島	434				
		山梨	692	沖縄	542				
		長野	570	計	123,829人				
		岐阜	1,373						
		静岡	1,480						
		愛知	6,131						

徳島地域の外国人留学生受入れの現状

1 留学生受入れ数の推移



2 出身国・大学等別の留学生数

(平成20年10月1日現在)

国・地域		国立大学		私立大学		私立短期大学			高専	合計
		徳島大学	鳴門教育大学	四国大学	徳島文理大学	四国大学短期大学部	徳島文理大学短期大学部	徳島工業短期大学	阿南工業高等専門学校	
アジア	中国	140	19	5	1	1		4		170
	韓国	9	4		1					14
	台湾	3								3
	マレーシア	23						1	1	25
	インドネシア	4			1					5
	バングラデシュ	17			1					18
	ミャンマー	1								1
	ベトナム	13						1	2	16
	カンボジア	1								1
	フィリピン	2								2
	タイ		4							4
	モンゴル	15								15
	ラオス	2	4							6
ブータン	1								1	
中近東	イラン	2								2
	ヨルダン	1								1
	イエメン	1								1
	アフガニスタン	1								1
ヨーロッパ	ドイツ	3								3
	セルビア	2								2
	フランス	1			1					2
	ブルガリア	1								1
	モンテネグロ	1								1
	ラトビア	1								1
ハンガリー			1						1	
アフリカ	エジプト	23								23
	ガーナ									0
	南アフリカ共和国									0
	ガボン	1								1
	ケニア	2	1							3
	マラウイ									0
ギニア	1								1	
北米	アメリカ合衆国	3	1	1						5
中南米	ブラジル	2								2
	ペルー		1							1
	メキシコ	1	2							3
	ベネズエラ									0
	ホンジュラス		1							1
	ジャマイカ		1							1
	ドミニカ共和国	1								1
	コロンビア								1	1
ボリビア	1								1	
合計	280	38	7	5	1	0	6	4	341	



日本から学んだこと

鳴門教育大学大学院学校教育研究科(修士)2年

ONGWAE ジョージ モガンビ

ONGWAE George Mogambi

(ケニア)

私は2005年秋に来日して以来、多くの経験を得ることで自分自身を見直すことができました。その中で特に3つのことについて強く感銘を受けましたので紹介します。

まず、日本人の仕事に対する態度です。以前、ケニアにいる家族から小麦粉が送られてきた時、なんらかの理由で袋が破れていました。その際、郵便局員が詳しく状況を説明し、とても丁寧に何度も謝ってくれました。ケニアでの郵便事情を思い出すと、たとえ間違っただけでも説明はありません。日本では郵便はもちろん、電車、バスも時間通りに到着し、もし遅れた場合はきちんと説明があること、また市役所や警察署でも対応の早さ、丁寧さに驚きました。

次に、ルールやマナーに対する考え方です。電車の中では大声で喋らなかつたり、優先座席はたとえ混んでいても空席のままだったり、それを当たり前のようにしていることに驚きました。日本の子ども達を見て公共の場でのマナー、ゴミの分別、時間管理などを小さな頃から教えられているので、自然とマナーが守られるのだと気付きました。

最後に、政治における「誠実さ」です。日本人は首相が変わることをよく思っていないかもしれませんが、誠実に責任を取り、迅速に対応することは素晴らしいと思いました。

留学するまでは、経済成長するためには日本の技術だけが必要だと思っていましたが、マナーや仕事に対する態度の役割が大切だと思いました。発展途上国は、日本の高度な技術を学ぶと共に、態度や価値観も変える努力をする必要があると思いました。



余裕と慎重さを教えてくれた徳島

鳴門教育大学大学院学校教育研究科教員研修留学生

ウィ ソンミ
魏 聖美

(韓国)

私は韓国から来た教員研修生のウィです。今は鳴門教育大学で数学教育について勉強しています。

私はこちらの徳島で、きれいで静かな町と親切な人々に驚きました。町は驚くほどきれいで誰もごみを捨てていませんでした。ゴミ箱が特にない公園でも捨てられたごみを見つけるのは易しくなかったです。また、他人に親切で礼儀正しい人々が多くて、いつも忙しかった母国での生活よりこちらでの生活がもっと楽しくて余裕があったように思います。

もちろん難しさがなかったわけではありません。大学の寮でインターネットを使うために、申し込んでから一ヶ月を待ってやっと家でインターネットができました。韓国だったら申し込みの後二日くらいあれば可能な事です。日本では私にとって長い時間待つ必要がありました。外国人登録証明書の発給に二週間、銀行の通帳を作るのに一時間、現金引き出しカードを受けるのに十日間、韓国運転免許を日本運転免許に変えるのに十日間など、待つことに慣れなかった私はますます疲れていきました。しかし徐々に時間がたつほどそれは日本人特有の余裕で、すべての事を慎重にしようとする几帳面な性格から始まったということが分かるようになりました。大まかに早くすれば早くするほど、間違いもあり、正確にできない場合が多いです。待つということは忍耐を学び、自らの余裕を捜して私自分を振り返るきっかけを作ってくれました。早く動くTVやコンピューターの画面を見ていることより本を読んで物静かに思っただけながら他人とお互いの情報を交換する方が人生をもっと面白くしてくれると思います。日本で学んだ余裕と慎重さは、韓国に必ず持って帰りたい宝物になっています。



一緒に地球を守りましょう！

四国大学大学院経営情報学研究科2年

リュウ 悦

(中国)

未だに思い出す7年前のあの日。親と切ない別れをした後に、一人で不安な気持ちを抱えながら福岡国際空港に到着しました。ジェット機のドアが開いた瞬間、私は愕然としました。あの透き通る青空、あのみずみずしい花、あの塵さえ見えない道路…「日本の空気って何てこんなにおいしいだろう」と、思いました。

日本語を勉強するために日本を訪れた私が、この数年間で一番勉強できたのは日本のマナーでした。子供のころ、ゴミってリサイクルするものと先生から教わりましたが、ずっと他人事で、自分と関係ないと思っていました。日本に来て、みんなが一生懸命にゴミを分類している様子を見た時は、本当に感動でした。「できないことではなく、協力することだ」と日本人のおばあちゃんが言いました。中国も「郷に入っては郷に従え」ということわざがあります。その日から、私も飲んだ牛乳パックを洗って捨てること、廃棄の乾電池や飲み終わったペットボトルのふたを集めてコンビニの回収箱に入れること、外でご飯を食べるときは割り箸ではなく、携帯のおはしを使うこと、風邪を引いたらマスクをすること、人にぶつかったとき、自分から「すみません」と謝ること等をやりました。だんだん自分の気持ちも心も清く澄んでいきました。

私が最初徳島を知ったのは、映画の「眉山」でした。珍しい眉姿の山、熱気に満ちあふれた阿波踊り、いつかこの場所で住みたいなと思いました。2年前、四国大学大学院の入試に合格して、チャンスが訪れました。東京や福岡などの大都市と違って、徳島は高層ビルがない、ブンブンと排気ガスを撒き散らしながら急いで走っている車もない。あるのはその青い空、熱い太陽、きれいな川、緑がいつぱいの畑、ちょっとおいしすぎる空気。夏にそよ風が吹くたびに、田畑の稲穂が波のように踊っている。自転車に乗って畑の脇を横切るのがとても好きでした。こんなきれいな自然を守らないといけないと思いました。

この三月で卒業する私はこれから一人の社会人として日本で勤めることとなります。日本語、日本のマナー・技術をもっと上達させて、日本は景色がきれいな国、人のマナーが美しい国、そして、エコで頑張っている国であることを中国の人々に伝えたい、そして分かってほしい、協力してほしいと思っています。一緒に、私たち共同の家「地球」を守るために頑張りましょう！



徳島文理大学での私の研究

徳島文理大学薬学部 薬学研究科（博士課程）

イスミアルニ・コマラ
（インドネシア）

私はインドネシアのジャカルタから来ましたイスミアルニ・コマラです。

徳島に1年2ヶ月住んでいます。私は現在、徳島文理大学薬学研究科の博士課程で勉強している学生です。私は昨年11月から生物活性化合物であるタヒチ産苔類の研究を浅川教授の指導の下で研究しています。

徳島文理大学に来る前はインドネシアの西スマトラアングラス大学薬学部の学士課程の学生でした。その後マレーシアのプトラ大学理学部で2年半、天然物化学の研究を行い、修士号を取得しました。幸運にもマレーシアのクチングで浅川教授にお会いする事ができました。それは浅川先生が議長を務められていた学会で私の論文発表の時の事でした。浅川先生のゼニゴケの研究に強い関心があり、彼の研究室でゼニゴケの研究をする事を決意しました。幸いにもインドネシア政府に対する日本国際銀行からの円借款で奨学金をもらえる事ができ、徳島文理大学の博士課程で研究する事に決めました。

最初の日本の印象は全てが組織的に収まっていて、清潔な国である事でした。日本人は私に対し、とても親切で食事はきれいに盛り付けされています。私は日本の海鮮料理が好きですが、残念なのは私にとってとても大切な辛料の効いた食事ができない事です。研究室では日本人達がいかに研究をしているかを知る事が好きです。彼らは非常に勤勉です。私は今でも仕事に対する彼らの姿勢に驚かされます。彼らは夜中まで、時には翌朝まで働きます。

徳島文理大学は非常に近代的できれいです。クリスマス時期に校内に点灯されるLEDイルミネーションは幻想的です。スタッフも学生も友好的なので私の研究テーマを毎日一生懸命浅川研究室でやる事ができます。生れてこの方、見た事がないような色々な器具が整然と一つの研究室に上手く収まっています。

一方では大きくて、美しいコンサートホール（むらさきホール）に驚きました。そのホールで開催されたコンサートに私は学生と先生方による素晴らしい演奏会に出席する事ができました。私にとっては初めての経験ですが徳島文理大学の学生はこの様なコンサートを聴くことができ、幸せだと思いました。

昨年の10月、私は浅川教授、野間教授そしてルドビクチョコク博士と群馬県の東洋大学で開催された「香料・テルペン精油化学に関する討論会」に参加しました。その討論会で私は日本で始めて「タヒチ産苔類のテルペンとアセトゲニン」の発表を英語で行いました。発表後たくさんの方から質問がありました。議長と浅川教授から私の発表は完璧で明確であったとお褒めの言葉を頂き、嬉しくなりました。この様な機会を与えて頂き、感謝しています。「香料・テルペン精油化学に関する討論会」の帰路、東京に一泊しました。東京の街を初めて見た時の興奮は何と表現してよいのか分かりません。たくさんの人、たくさんビル、たくさん交通、たくさんのお店、それでいて緑の多い何と綺麗な街なのか！

私は在学中に天然物の活性試験や化学反応を行い、最終目標である博士号を目指す予定です。今日、フランス領ポリネシア大学のラファリベロマナナ教授から三つの苔類を受け取りました。これから特殊なジテルペンを抽出して単離します。そして、この結果を今年奈良で開催される国際学会やテルペン精油化学に関する討論会で発表する予定です。

最後に徳島文理大学で研究する機会を与えて下さいました村崎理事長にお礼を申し上げます。



日本に来て思う事

徳島工業短期大学自動車工業学科 1 年

グエン コン ディン
NGUYEN CONG DINH

(ベトナム)

私は 1982 年にベトナムのハティンに生まれました。そして地元の小・中学校を卒業してその後ホーチミン市にある高校及び専門学校を併設したカオダンコンゲップム校に 1999 年に入学しました。そして 2002 年に卒業して金型を造る会社に就職しました。2006 年の 4 月に日本の岡山県の長船日本語学院に入学し、2 年間日本語を勉強しました。そして 2008 年に徳島工業短期大学に入学しました。

日本に来て大変驚いた事は日本の交通機関の多い事と素晴らしい事に感心しました。町にはバスやトラックが沢山走り、人々の家には新型の自動車は何台もありました。徳島へ来ると岡山より田舎だと思ったが景色が美しく、徳島の人々は大変親切で、先生方はいろいろ世話を焼いてくれました。いい友達にも恵まれました。そんな中で私は自動車について更に興味を持ちました。今後は日本の自動車会社で整備の仕事をして自動車整備技術を学びベトナムへ帰って母国の発展のために尽くしたいと思います。



広い心の人々の恵み

阿南工業高等専門学校制御情報工学科 4 年

ピネダ ダビー アロンソ
PINEDA DAVID ALONSO

(コロンビア)

徳島、阿南高専にきて、もうすぐ 2 年になります。ある面から見ると大変長い時間を過ごした感じがしますが、別の面から見ると短い時間の感じもします。たとえば、まだ 2 年がたっていないのに、もう徳島県の半分を見ました。自然の恵みのある徳島は、とくに夏のとき、母国にそっくりなのです。私は旅をすることが大好きで、母国にいたときもそういう活動を父や弟たちと一緒にしていました。こんなきれいな地域にきて、機会があるときはなるべく旅や散歩をしに行くことができ、私は非常に満足しています。たまに（たいてい）道に迷っても、とても面白くて楽しいと思います。そうしたら、徳島の本当の美しさ、人の優しさに接しました。

旅に出たら、雨にぬれて、暑い日に汗だらけになって、自分が「気持ち悪い」と思うほど汚くなります。そんな状態になっていても、声をかけて、車にのせてもらったことが 3 回もあります。もう二度と会わないかもしれないのに、話をしたり、食べものや飲みものをごちそうしたりする人たちもたくさんいました。これが、日本全体のことかどうかわかりませんが、徳島にそういう人がいると知って、世界はそんなにひどい所じゃないと思えてきました。自然の恵みもですが、それよりも、気前のよくて、広い心の人々の恵みのある徳島が、私の心に残るに違いありません。



留学生からみた徳島

徳島大学工学部電気電子工学科2年

キム ヨン ヒョン
金 栄 現
(韓国)

今から三年前、私は日本に来るための試験に合格しました。「日韓共同工学部留学生派遣」という日本と韓国の政府が人材養成を目的としたプログラムで、韓国から毎年100人ぐらいの留学生が日本の大学に留学しています。試験には日本語がないので、ほとんどの学生は日本語が分かりません。それで、そのプログラムでは、日本に来る半年前から韓国で日本語の勉強をします。私は韓国のソウルにある慶熙大学で勉強しました。その大学には多くの日本人の学生がいて、その学生たちは韓国語を勉強していました。私たちは日本語の勉強をしていたので、日本の学生に会って日本語を話す機会がよくありました。韓国の学生はよく自分が将来留学する大学について聞いたり、自分が留学する地域について聞いたりしました。日本の学生はいろいろなところから来ていましたが、東京、大阪、名古屋などの都会から来ている学生さんばかりで、残念ですが徳島からの学生はもちろん、四国からの学生はなくて、会ったことがありませんでした。でも徳島についていろいろ聞いたところ、詳しくは知らなかったのですが、田舎という学生さんが多かったです。それで、田舎、鳴門の渦潮、阿波踊りなどが、私が徳島に来る前に持っていたイメージです。

それから半年後、私の日本での第二の人生が始まりました。ソウルから一番近い仁川国際空港から日本の関西国際空港、そして徳島駅まで、その日はなぜか思ったよりも長かったのです。外国に住むという期待半分、そしてまだまだ子供のような自分がうまくやっていけるのかという心配半分のせいで、長く感じたのではないかと今は思います。その日は本当にいろいろ考えました。親から初めて離れて全てのことを自分の力だけでやらなければならないということが不安だったのかもしれない。とにかく一人で徳島駅前に着いた私は、来る前に持っていた田舎というイメージは何かおかしいと思いました。韓国の田舎は田畑や家畜が多く、人が少ないので、徳島駅の様子はそれと違ってけっこう都会ではないかと思いました。その考えを持って北島町の徳島大学国際交流会館に向かいました。大学の国際課の方から送っていただきましたが、駅から離れていくとともにだんだん見えてくる畑は、昔日本の学生から聞いたことを思い出させました。それは「田舎」という言葉！！生まれてからずっと都会のソウルに住んでいた私にはいろいろ大変なことがあるかもしれないという気がしてきました。

田舎、田舎、田舎…素直に言うと私はいやだったのです。もっとかっこよく東京とか大阪に住みたかったのです。子供のとき遊びだけで乗っていた自転車に乗らなきゃ学校に行けない。電車が無い。バスは料金が高くて、しかも30分か一時間に一台しか来ない。夜の街は暗くて何も見えない。徳島に慣れるまではいろいろ大変だったのです。でも私が選んだ道なので、諦めないと思いました。もう今は徳島に慣れていました。田舎が悪いともそんなに思いません。都会に比べてゆっくりできるし、都会では感じられなかった自然ともっと親しくなれたというかそんな気がしています。私は自分が直面している環境を納得し、それを逆にポジティブに利用しました。徳島は勉強をするところとしてはすごくいいと思います。遊ぶところがなかなかないため、誘惑がなくて勉強だけがんばることができました。

日本にきて2年半ぐらいが経ちました。その間いろいろなところに旅行も行ってきました。東京、名古屋、大阪、奈良、京都などです。いろいろなところに行ってみると、一番徳島と違うと感じるのは方言です。阿波弁は関西弁とけっこう似ていると思います。それで、阿波弁、関西弁に慣れてしまった私は、東京と名古屋に行ったとき、日本語が分からなくて慌てたことがあります。日本語は標準語で学んだのに、私には方言のほうが親しみやすいのです。阿波弁の中で「～するけん」の「けん」が

一番好きな阿波弁です。なぜか分かりませんが、「～けん」と聞くと、その「けん」の音がとても可愛いと思います。特に女性の方がそれを言うのが好きです。また、旅行に行って戻ってくると感じるのが徳島の運転マナーです。韓国の運転マナーもあまりよくないので、徳島に来てからはそんなものかと思っていましたが、ほかの県に比べてみると、徳島の運転マナーはあまりよくないと思います。横断歩道を人が渡っているのに、車が近くまで入ってきたり、早く走ったりするのはちょっと直したほうがいいなと思います。

最後に、徳島で私が一番好きなのは阿波踊りです。韓国は祭りの文化が少ないため、去年初めて阿波踊りを見たときは感動しました。県内の人々はもちろん県外の人々も遊びにきて、きれいな浴衣を着て祭りを一緒に楽しむ様子はとても美しく羨ましかったのです。また、私が好きなのは徳島の人々です。外国から来ていることを分かってくれて、本当の家族のようにしてくださる方がとても多いです。私は徳島の暖かい心、親切に接してくれる人々にとても感謝しています。

徳島は私にとって第二の人生が始まったところ、また私の日本の故郷です。まだ分かりませんが、いつか私が徳島を離れても、私は自分の故郷、徳島を忘れることはないでしょう。大好きになってしまった徳島ラーメンが懐かしくなると思います。



徳島のイメージ

徳島大学大学院先端技術科学教育部博士後期2年

ジャン ベイ リン
姜 沛 林
(中国)

わたしは徳島の静かさと、暖かい雰囲気を入っていた。平成19年、博士後期研究のために、わたしは徳島にやってきた。水っぽい温い感じの空気、高い眉山、そして長い吉野川大橋、周りのすべてのものは故郷と違うが、なんとなく、わたしに故郷の町との同じ感じを思い出させた。

徳島に到着した当日、小雨に出会いました。故郷と違って、徳島でしばしば雨が降っていた。だから、わたしは全然気にしないで、傘も使っていなかった。そのまま、重いトランクを引っ張って、見知らぬ徳島の町でコツコツと歩いていた。

その通りに、私のように、歩く人はあまりいなかった。この時、一台の真っ白いくるまが、後ろから私を追い越し、目の前に止まった。そしてくるまから一人のおばあさんが降りた。おばあさんは、「なぜ傘でも使っていないの」と聞いてくれた。ともにすぐ後部の箱を開けて、中から傘を取り出した。

たぶん、雨の中を大きい荷物を引っ張っているわたしのことが、彼女にはちょっと気になっているかなと思っていた。

それ以来、わたしはほぼ二年間徳島大学で研究をしていた。自分の時間はほとんどビジュー状態で過ごした。私が最も好きなのは窓を開き、雨の音に耳を傾けながら、それぞれの1日を過ごすことでした。

学会参加などのために、この2年間、私は、日本および海外の多くのまちに行ったことがあった。どのまちもすべて自分の特色を持っていると思った、しかし、それぞれの旅から戻る時に、閑空からバスに乗って、徳島駅前に着いて、そして、研究室から会館へ帰ったのは、まるで自宅に帰ってくるようでした。

楽しい時間はあっという間に過ぎ去っちゃった。そして、私が徳島を離れる日に、そんなに雨が好きな徳島は、また雨が降ってくるかも知らない。でも、そのときに私はすでに徳島に慣れたと思う。

平成 19 年度 徳島地域留学生交流推進協議会議事要旨

平成 19 年度徳島地域留学生交流推進協議会が、独立行政法人日本学生支援機構四国支部から横田勝主査の出席を得て、協議会構成機関及び団体等が参加し、平成 19 年 11 月 30 日(金)阿波観光ホテルにおいて開催された。

協議会では、議長である青野徳島大学長から開会の挨拶、次いで日本学生支援機構から同機構の概要等について説明があった後、報告事項に移り、本協議会運営委員会委員長の細井徳島大学学長補佐(国際関係担当)から平成 19 年度実施事業についての報告があった。

続いて、議題に入り、平成 20 年度の事業として次の事業を実施することが承認された。

- 1 生活用品の無償提供
- 2 徳島文化体験交流会
- 3 外国人による日本語弁論大会
- 4 会報「かずらばし」(第 18 号)の発行
- 5 留学生に対する奨励事業
- 6 ホストファミリー事業
- 7 多文化体験交流会



徳島地域留学生交流推進協議会要項

(設置及び目的)

第1条 徳島県内における留学生の円滑な受入れの促進と交流活動の推進を図り、地域住民の国際理解の増進に寄与するため、徳島地域留学生交流推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(事業)

第2条 協議会は、前条に掲げる目的を達成するために、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 留学生の受入れの推進
- (2) 留学生の勉学条件及び生活環境の整備
- (3) 留学生と地域住民との交流の推進
- (4) 地域住民に対する啓発
- (5) その他協議会の目的達成に必要な事業

(構成)

第3条 協議会は、次に掲げる委員をもって構成する。

徳島県内の高等教育機関、国の関係機関、地方公共団体、経済団体及び国際交流関係団体等の長又は代表者各1人並びに徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会委員長

2 前項の委員は議長が委嘱する。

(役員)

第4条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 議長 1人
- (2) 副議長 2人

2 議長は、徳島大学長をもって充て、副議長は、協議会の議を経て議長が委嘱する。

(役員職務)

第5条 議長は、協議会を招集する。

2 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるときは、副議長のうちから議長があらかじめ指名する者が、その職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 議長が必要と認めたときは、委員以外の者を協議会に出席させることができる。

(運営委員会)

第7条 協議会の円滑な運営を図るため、徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務)

第8条 協議会の事務は、徳島大学研究国際部国際課において行う。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成2年12月3日から実施する。

附 則

この要項は、平成8年12月3日から実施する。

附 則

この要項は、平成12年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成14年4月1日から実施する。

徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会要項

(趣 旨)

第1条 この要項は、徳島地域留学生交流推進協議会要項（以下「協議会要項」という。）第7条第2項の規定に基づき、徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会（以下「運営委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(協議事項)

第2条 運営委員会は、協議会要項第2条に規定する事項を達成するために必要な具体的方策や専門的事項等について協議する。

(構 成)

第3条 運営委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

協議会要項第3条第1項の団体等から推薦された者 若干人

2 前項の委員は、協議会の議長が委嘱する。

(委員長)

第4条 運営委員会に委員長を置き、徳島大学学長補佐（国際関係担当）をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を運営委員会に出席させることができる。

(事 務)

第6条 運営委員会の事務は、徳島大学研究国際部国際課において行う。

(雑 則)

第7条 この要項に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、運営委員会が別に定める。

附 則

この要項は、平成2年12月3日から実施する。

附 則

この要項は、平成12年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成14年4月1日から実施する。

徳島地域留学生交流推進協議会構成機関・団体一覧表

(敬称略 平成21年1月現在)

構成機関・団体名		代表者職名	代表者氏名
高等教育機関	鳴門教育大学	学長	高橋 啓
	四国大学	学長	福岡 登
	徳島文理大学	学長	桐野 豊
	四国大学短期大学部	学長	福岡 登
	徳島文理大学短期大学部	学長	桐野 豊
	徳島工業短期大学	学長	山本 哲彦
	阿南工業高等専門学校	校長	小松 満男
	徳島大学	学長 学長補佐(国際関係担当)	青野 敏博 細井 和雄
国	高松入国管理局小松島港出張所	所長	佐藤 史郎
地方公共団体	徳島県	知事	飯泉 嘉門
	徳島県教育委員会	教育長	福家 清司
	徳島市	市長	原 秀樹
	鳴門市	市長	吉田 忠志
	小松島市	市長	稲田 米昭
	阿南市	市長	岩 浅嘉仁
	徳島県町村会	会長	五軒 家憲次
経済団体	徳島県商工会議所連合会	会長	近藤 宏章
	徳島県商工会連合会	会長	松浦 恭之助
	徳島県中小企業団体中央会	会長	粟飯原 一平
	(社) 徳島経済同友会	代表幹事	近藤 紳一郎
	徳島県経営者協会	専務理事	浜田 行雄
国際交流関係団体	(財) 徳島県国際交流協会	理事長	谷川 博文
	徳島市国際交流協会	会長	森住 博
	鳴門市国際交流協会	会長	高橋 啓
	小松島市国際交流協会	会長	白山 林一
	阿南市国際交流協会	会長	古川 博務
	北島町国際交流協会	会長	吉成 務
	徳島ユネスコ協会	会長	山本 淹子
	国際ソロプチミスト徳島	会長	山田 澄子
	徳島中央ロータリークラブ	会長	藤田 定吉
	徳島YMCA	所長	宇埜 充洋
徳島ソングクラブ	会長	福島 弘子	
報道関係	日本放送協会徳島放送局	局長	大塚 幸雄
	四国放送(株)	社長	近藤 守
	(社) 徳島新聞社	総務局長	植田 和俊

徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会委員一覧表

(敬称略 平成21年1月現在)

構成機関・団体名		役職名	氏名	構成機関・団体名		役職名	氏名
高等教育機関	鳴門教育大学	教務部長	金澤 富男	経済団体	徳島県町村会	常務理事	森 周一
	四国大学	国際交流課長	岡田 和子		徳島県商工会議所連合会	専務理事	田村 忠之
	徳島文理大学	国際交流グループ長	山下 眞盛		徳島県中小企業団体中央会	参事	上杉 隆男
	徳島工業短期大学	国際親善課長	伊丹 隆徳		(社) 徳島経済同友会	事務局長	中川 勝
	阿南工業高等専門学校	学生課長	高橋 聡		(財) 徳島県国際交流協会	専務理事	小西 昭
	徳島大学	学長補佐(国際関係担当) 国際課長	細井 和雄 岡崎 房述		徳島市国際交流協会	会長	森住 博
地方公共団体	徳島県	国際交流室長	兼松 甚志	小松島市国際交流協会	会長	白山 林一	
	徳島市	総務課長	阿川 憲司	阿南市国際交流協会	会長	古川 博	
	鳴門市	文化交流推進課長	中野 正司	国際ソロプチミスト徳島	会長	山田 澄子	

徳島地域留学生交流推進協議会構成機関・団体一覧表

(敬称略 平成21年1月現在)

構成機関・団体名		代表者職名	代表者氏名
高等教育機関	鳴門教育大学	学長	高橋 啓
	四国大学	学長	福岡 登
	徳島文理大学	学長	桐野 豊
	四国大学短期大学部	学長	福岡 登
	徳島文理大学短期大学部	学長	桐野 豊
	徳島工業短期大学	学長	山本 哲彦
	阿南工業高等専門学校	校長	小松 満男
	徳島大学	学長 学長補佐(国際関係担当)	青野 敏博 細井 和雄
国	高松入国管理局小松島港出張所	所長	佐藤 史郎
地方公共団体	徳島県	知事	飯泉 嘉門
	徳島県教育委員会	教育長	福家 清司
	徳島市	市長	原 秀樹
	鳴門市	市長	吉田 忠志
	小松島市	市長	稲田 米昭
	阿南市	市長	岩 浅嘉仁
	徳島県町村会	会長	五軒 家憲次
経済団体	徳島県商工会議所連合会	会長	近藤 宏章
	徳島県商工会連合会	会長	松浦 恭之助
	徳島県中小企業団体中央会	会長	粟飯原 一平
	(社) 徳島経済同友会	代表幹事	近藤 紳一郎
	徳島県経営者協会	専務理事	浜田 行雄
国際交流関係団体	(財) 徳島県国際交流協会	理事長	谷川 博文
	徳島市国際交流協会	会長	森住 博
	鳴門市国際交流協会	会長	高橋 啓
	小松島市国際交流協会	会長	白山 林一
	阿南市国際交流協会	会長	古川 博
	北島町国際交流協会	会長	吉成 務
	徳島ユネスコ協会	会長	山本 淹子
	国際ソロプチミスト徳島	会長	山田 澄子
	徳島中央ロータリークラブ	会長	藤田 定吉
	徳島 Y M C A	所長	宇埜 充洋
	徳島 ソンタクラブ	会長	福島 弘子
報道関係	日本放送協会徳島放送局	局長	大塚 幸雄
	四国放送(株)	社長	近藤 守
	(社) 徳島新聞社	総務局長	植田 和俊

徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会委員一覧表

(敬称略 平成21年1月現在)

構成機関・団体名		役職名	氏名	構成機関・団体名		役職名	氏名
高等教育機関	鳴門教育大学	教務部長	金澤 富男	経済団体	徳島県町村会	常務理事	森 周一
	四国大学	国際交流課長	岡田 和子		徳島県商工会議所連合会	専務理事	田村 忠之
	徳島文理大学	国際交流グループ長	山下 眞盛		徳島県中小企業団体中央会	参事	上杉 隆男
	徳島工業短期大学	国際親善課長	伊丹 隆徳		(社) 徳島経済同友会	事務局長	中川 勝
	阿南工業高等専門学校	学生課長	高橋 聡		(財) 徳島県国際交流協会	事務理事	小西 昭
	徳島大学	学長補佐(国際関係担当)	細井 和雄		徳島市国際交流協会	会長	森住 博
		国際課長	岡崎 房述		小松島市国際交流協会	会長	白山 林一
地方公共団体	徳島県	国際交流室長	兼松 甚志	阿南市国際交流協会	会長	古川 博	
	徳島市	総務課長	阿川 憲司	国際ソロプチミスト徳島	会長	山田 澄子	
	鳴門市	文化交流推進課長	中野 正司				

徳島地域留学生交流推進協議会事務局

発行 2009年3月

〒770-8502

徳島市南常三島町1丁目1番地

徳島大学研究国際部国際課内

TEL 088 (656) 7079

FAX 088 (656) 9873

